



大会編



弓道競技

〈日程〉 令和6年10月5日（土）～8日（火）

〈会場〉 多久市緑が丘弓道場



成年男子

副島 良選手(左)、川崎 浩輔選手(中)、染川 徹選手(右)



成年女子

藤田 いづみ選手(左)、大江 未菜選手(中)、馬渡 雛選手(右)



少年男子

真名子 聖十郎選手(左)、川下 丈太郎選手(中)、蒲地 悠人選手(右)



少年女子

林 心咲選手(左)、山口 慧花選手(中)、野中 理加選手(右)



競技委員長 田原 則夫
(佐賀県弓道連盟会長)



監督会議・トロフィー返還式



矢渡し



特別演武

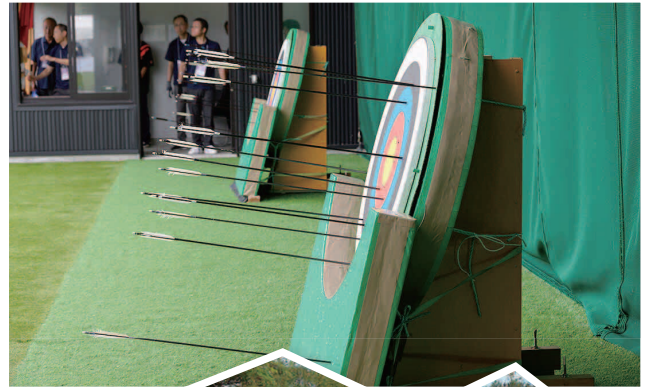


納射





巻藁練習を行っている選手





各種別最優秀選手へMVP賞を贈呈

競技会会長 加藤 出
(全日本弓道連盟会長)近の少年女子1位／近の少年男子7位
遠の少年女子5位

天皇杯6位／皇后杯4位



スポーツクライミング競技

〈日程〉 令和6年10月12日（土）～14日（月）

〈会場〉 九州クライミングベース SAGA（佐賀県立多久高等学校及びその周辺）



成年男子

樋口 純裕選手（左）、中上 太斗選手（右）



成年女子

樋口 結花選手（左）、大河内 芹香選手（右）



少年男子

通谷 結太選手（左）、通谷 律選手（右）



少年女子

久我 心結選手（左）、梶 絢香選手（右）



競技会会長 蛭田 伸一
（日本山岳・スポーツクライミング協会会長）

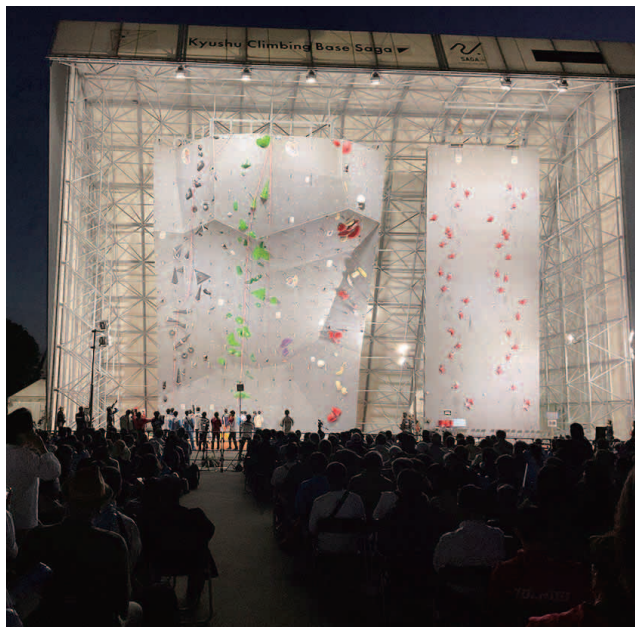


監督会議・トロフィー返還式



競技会副会長 宮原 敏明
（佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟会長）





国スポ初のナイトゲームを開催





各種別優勝チームに副賞を贈呈



入賞者（1位～3位）のメダル



成年男子	リード1位、ボルダー8位	／	成年女子	リード7位
少年男子	リード1位、ボルダー2位	／	少年女子	リード3位



天皇杯 2位



皇后杯 8位

売店・総合案内所

選手・監督など大会関係者並びに観覧者の利便性向上を図るとともに、本市の特産品等の紹介および販売を促進するため、おもてなし会場に売店を設置しました。売店には、国民スポーツ大会記念グッズやスポーツ用品、郷土物産品などの品が並び、多くの人で賑わいました。

また、総合案内所では巨大絵馬の設置や来場者へアンケートを行い、回答者へノベルティの配布を行いました。



おもてなし会場で弓道体験



みかんジュースのふるまい

競技役員

佐賀県弓道連盟や佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟を中心に競技役員として従事いただき、競技運営を行っていただきました。





競技補助員

高校生を中心とした 293 名が競技補助員として参加し、競技運営をサポートしていただきました。競技の補助や表彰等様々な業務に携わっていただきました。





競技会補助員（ボランティア）

ボランティアには124名の登録があり、大会期間中は会場での受付や弁当配布、環境美化、会場整理、おもてなしに従事し、競技会の運営をサポートしていただきました。





会場装飾

競技会場をのぼり旗や花、おもてなし看板等で装飾し、全国から訪れる選手・監督や一般観覧者などを迎え入れました。また総合開会式で配火された炬火を展示しました。



競技を「する」「観る」「支える」人達のスポーツのチカラを呼び起こすものになればという想いが込められています。



花いっぱいのプランターで会場を彩りました。(ガーデンプロジェクト)



お成り

10月8日、高円宮妃久子殿下が多久市緑が丘弓道場に御来場され、弓道競技近的成年男子決勝を御覧になりました。また、10月14日には佳子内親王殿下が九州クライミングベース SAGA に御来場され、スポーツクライミング競技ボルダー成年女子決勝を御覧になりました。



会場周辺の沿道も人で溢れました